消　防　学　校　だ　よ　り

令和８年８月・９月号

発行年月日　令和８年１０月　日
発　　行　宮崎県消防学校

初任科（実務研修）

８月３日（月）～８月８日（土）の期間で、各所属にて実務研修を行いました。

実際の職場の雰囲気を肌で感じ、第一線で真摯に業務に向き合う先輩方の背中を間近で見ながら直接指導を受けることは、初任科学生にとって非常に貴重な経験となりました。現場の緊張感やプロとしての心構えを肌で感じたことで、消防吏員としての自覚がより一層高まりました。

今回の研修で得た学びと刺激を胸に、残りの初任科教育に全身全霊で取り組み、地域住民の期待に応えられる消防吏員へと成長してまいります。











第４１回宮崎県消防操法大会

８月２２日（土）、第４１回宮崎県消防操法大会が開催されました。

各支部の予選を勝ち抜いた消防団員が、ポンプ車、小型ポンプ、同積載車の３部門に出場し、日頃培った高度な操法技術を競い合いました。

当日は猛暑の中での競技となりましたが、選手一人ひとりが練習の成果を存分に発揮し、気迫に満ちた見事な動きを披露しました。地域防災の要である消防団員の皆様の熱意とたゆまぬ努力に深く敬意を表するとともに、初任科学生も負けないよう訓練に励む決意を新たにしました。





無線資格取得講習（特別研修）

８月２７日（木)、無線資格取得講習を行いました。
取得免許は第三級陸上特殊無線技士で、無線法規、無線工学の講習受講後、試験に挑みました。
受講生５３名（初任科生３１名、現役職員２２名）全員が講習終了後の試験に合格しました。




初任科（体力測定）

８月３１日（月)、２回目の体力測定を行いました。各学生、１回目の記録から伸びた者、伸び悩んだ者といましたが、各学生、半年間の成果が現れていました。体力の維持、向上は今後とも継続してください。



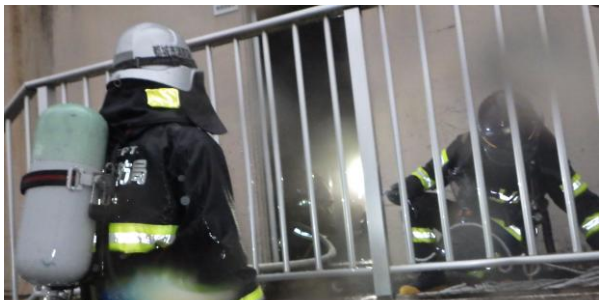
初任科（消防実務）

９月３日（木)、初任科第７０期の宮崎市消防局 福川 祐慈消防士に来ていただき、残りわずかとなった初任科生活で「やるべきこと」や「やっておけばよかったこと」など、実際の消防署勤務の経験を交えて熱く語っていただきました。一期上の身近な先輩からの実体験に基づくアドバイスとあり、学生たちは皆、真剣な眼差しで聞き入っていました。今回の学びを胸に、残りの訓練に全力で臨みます。



初任科（夜間訓練）

９月３日（木)、夜間訓練を実施しました。
夜間という視界が悪い中での活動は、日中より更に危険が増します。活動活況が変化しても基本動作を確実に行い、安全な活動が行えるように訓練しました。



初任科（耐熱訓練）

９月８日（火)、主訓練塔にて耐熱訓練を行いました。実際に炎に接し、熱や煙を体感することで、火災救助での要救助者の迅速救助の必要性はもとより、各個人防火服、空気呼吸器の完全着装の必要性を感じた事と思います。



初任科（双石山登山）

９月１１日（金）、初任科恒例の双石山登山を行いました。

丸野駐車場からひょうたん淵を経由して麻畠を目指し、各小隊で目標場所までの時間管理を徹底しながら担架搬送を行いました。

復路においては、要救助者搬送を想定した実践的な訓練を行いました。絶えず要救助者に声をかけ続けることで不安を軽減させるとともに、搬送時の動揺を最小限に抑える細やかな配慮を実践しました。

過酷な環境下での長距離搬送を通じて、小隊の団結力が一段と強まりました。今回の訓練で培った体力と精神力、そして仲間との連携を今後の現場活動にしっかりと活かしてまいります。



初任科（校外研修）

９月２５日（金）、県防災救急航空センターで校外研修を実施しました。

中原 寛幸隊長より、航空隊の運用体制や各種器材の諸元について専門的な講義を受けました。その後、新機体となった防災救急ヘリ「あおぞら」や、緊迫感あふれる航空隊の訓練を間近で見学させていただきました。

上空からの迅速な救助活動や、隊員の方々の高いプロ意識に触れ、大きな刺激を受けました。今回の見学を通じて、これからの消防人生における新たな目標と強い憧れが芽生えました。いつの日かこの舞台に立てるよう、日々の訓練に一層精進してまいります。



１０月の主な行事

●第７１期初任科　卒業式　10 月 1 日（木）
●防火訓練　延岡市　10 月 6 日（火）～7 日（水）
●救急科入校　10 月 13 日（火）～12 月 8 日（火）
●消防団員基礎教育　１次　10 月 21 日（水）～22 日（木）
　２次　10 月 24 日（土）～25 日（日）
　３次　10 月 27 日（火）～28 日（水）

宮崎県消防学校
電　話:0985-56-0555　FAX:0985-56-1475
E-mail:shoboh-s@pref.miyazaki.lg.jp